

2002年10月6日 主日礼拝 (誕生祝福式)

司 会 ①二見兄 ②永井兄 ③浜田兄
奏 楽
賛 美 聖歌474
使徒信条
主の祈り
賛 美 聖歌472(主はみ座におられる)
祈 禱 ①三畑元兄 ②高木師 ③三畑兄

聖 書 マタイによる福音書14章22～33節
音 楽 ①北島姉 ②③聖歌隊&宮田四郎兄

メッセージ 『教会は沈まない』 大川従道牧師

賛 美 明日はどんな日か(献金)
祝 禱

『安心しなさい。わたしだ。』

『恐れることはなく。』

(マタイ十四の二七・新共同訳)



「人生に五計あり」という。

「生計」。いかに生きていくか。生き甲斐をどこに見つけるか。私たちは生きているというよりは、創り主なる神様に生かされている、ということの自覚なしには、本当の意味における生の充実はない。(大川とことどころ加筆)

「家計」。生きるためには経済力が必要だ。パウロの言うように貧に対処する道も、富における道も知り、どんな境遇にあっても、足ることを学びたい。

「身計」。健康状態である。腹と腰にベトリ脂をつけるとアタマが悪くなるという。肺臓や心臓が圧迫され、脳の中に送られる血液がすくなくなるからである。脳ほど酸素と栄養を消費する器官はない。老人ボケも、脳の酸欠状態の一種で、原因は血管の壁に老廃物がついて血液のとおり道がほそくなり、脳に酸素と栄養が十分に補給されないからです。つまり、補給が十分な場合は、老人でも切れ味、回転ともにOKというオツムになりますし、二十才の人でも補給が不十分な場合は、若手痴呆になるわけです。

「老計」。要は美しく老いるための計画です。老醜、老残、老廢。いやなんです。髪は真っ白、皮膚に斑点、手は骨の丘陵。それはよろしい。逆らうことはできません。美しくなければならないのは、雰囲気なのです。顔に光を持ち、目に色をたたえ、唇に詩を乗せ、背筋に流れがあり、足許に清風が立つ。

「死計」。死ぬときにどんな気持ちで死んでゆこうか、その計画です。

これらの文章は、草柳大蔵著「花のある人・花になる人」よりの引用である。

今日は秋の召天者記念礼拝と納骨式を、教会納骨堂前で行う。もし永遠の恵を信じられなければ、全ては空しい。しかし、キリストの五重の祝福をいただくと「五計」さえも、豊かな解決を得る。まさに「身にあまる祝福をいただき心から主に歌います」(詩篇13の6・LB)

【大和ニュース】

- ・本日3時より「召天者記念礼拝と納骨式」を行います。バスは2時出発。
- ・本日より入門講座が3回シリーズで始まります。受洗希望者と転入会者は必ず学んで下さい。日曜9時～10時15分。2階レインボールーム。担当は小崎師。無料。
- ・本日、子聖、手話、学生会、青年会、囲将、Gマジック、ゴスペルクルー、ヨシユア会、チャーチスクール支援祈禱会等あり。ボードで確認して下さい。
- ・今週の水曜祈禱会は、信徒聖会。説教はケーラー師。ご期待下さい。木曜は大川師。
- ・武井聖書教室は、火曜朝10時半より。シャローム館にて。無料。
- ・エステル会は、火曜朝10時半。川田姉宅にて。
- ・家庭集会は、桜ヶ丘(水曜10:30)、南林間(金曜13:30)です。
- ・深夜祈禱会は、金曜21時より。説教は小西神学生(按手祈禱あり)。
- ・ご結婚おめでとうございます。明井兄と石田姉。土曜2時半より。当チャペルにて。
- ・土曜祈禱礼拝は、夜8時～9時。説教は、倉知師。
- ・10月27日の祝賀会に該当する方は、お申し出下さい。(金婚式、銀婚式、喜寿、米寿)

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう!

Aコース:ピリピ2章～コロサイ4章 Bコース:イザヤ34章～49章